

# 平成9年度スジアオノリ優良品種作出技術開発

## 野外養殖試験結果

團 昭紀・荒木 茂・荻平 将

本年度は、選抜品種の野外養殖試験に先立って他県産及び本県産スジアオノリの養殖試験を実施し、今後の養殖試験実施における技術上の問題点の把握と選抜前藻体の野外での成長の把握を行った。なお、本事業はフロンティアテクノ21推進事業によった。

### 材料および方法

養殖試験に使用した藻体は、高知県産2種と本県産2種で、高知県産は平成9年3月に河川に自生していたものを採取し継代培養した藻体、本県産のものは平成9年5月に吉野川の養殖漁場で養殖されていたものと吉野川近傍の魚類養殖池に自生していた藻体を継代培養した藻体である。

採苗方法は、本報別項にあるスジアオノリの母藻細断法による人工採苗の手順に従い行った。1種あたり10枚の養殖網に採苗し、塩分濃度20の海水を満たした10トンのコンクリート池で網をできるだけ広げ1週間育苗した後、5枚ずつ図1に示したA、B養殖セットに5枚ずつ張り込んだ。

サンプリングは各網から平均的な芽付きの部分を1節ずつ採取し、網糸1cm中の上位20本の藻体を測定した。サンプリングは1週間に1回実施した。

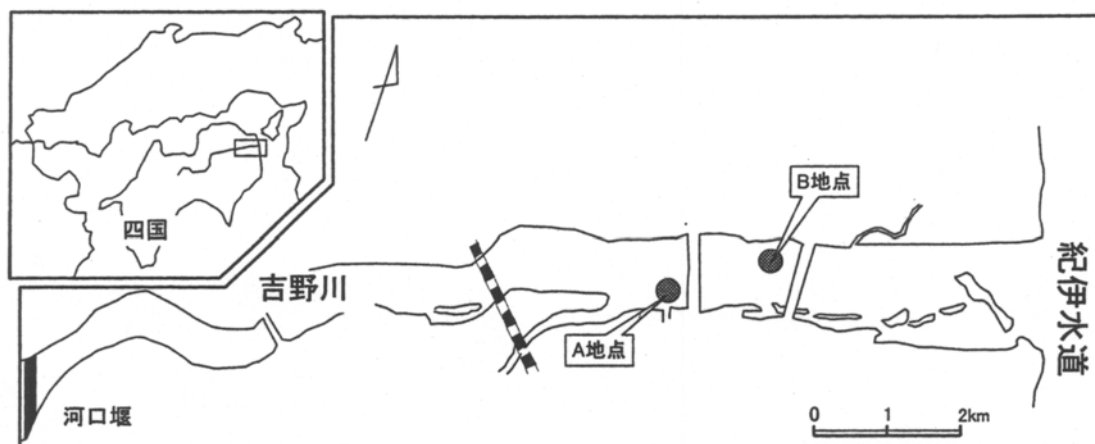


図1 野外試験養殖漁場

## 結果および考察

試験を実施した4種についての採苗日、漁場への張り込み日及び結果については次のとおりである。

1 第2回野外養殖試験(図2)

採苗日：平成9年10月9日

材 料：高知県中筋川産(平成9年3月採取)

吉野川張り込み：平成9年10月16日

結 果：10月末の高水温により先端部流出

2 第2回野外養殖試験(図3)

採苗日：平成9年10月15日

材 料：吉野川産(平成9年5月養殖場より採取)

吉野川張り込み：平成9年10月24日

結 果：A地点セットは11月21日に収穫(4kg/網)

：B地点セットは成長したが未収穫(4kg以上/網)

3 第3回野外養殖試験(図4)

採苗日：平成9年10月22日

材 料：吉野川産(平成9年5月養殖池より採取)

吉野川張り込み：平成9年10月31日

結 果：鴨による食害により収穫できず

4 第4回野外養殖試験(図5)

採苗日：平成9年10月31日

材 料：四万十川産(平成9年3月採取)

吉野川張り込み：平成9年11月7日

結 果：鴨による食害により収穫できず

第1回養殖試験では、張り込み日が10月16日と早く、水温が21℃と高温であったことと、台風による波浪により河口部に濁りが発生したために、10月末に先端部流出が起こり、その後、平均藻体長5~10cmで推移した。

第2回目養殖試験では、11月中旬に収穫された。第3回目、第4回目養殖試験では、平均藻体長5~20cmまで成長したが、鴨による食害により、その後の成長が見られなかった。また、第4回目の採苗では、採苗時の水温が低く、十分な孢子量が得られなかったため、芽付の薄い網となった。

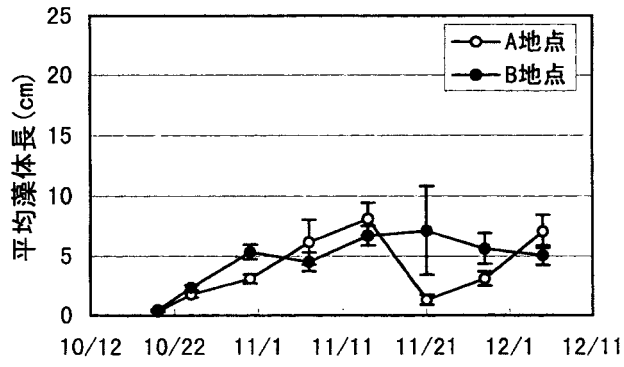


図2 第1回野外養殖結果(中筋川産)

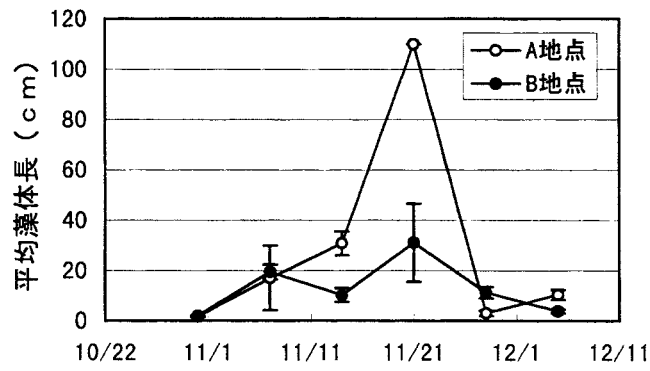


図3 第2回野外養殖結果(吉野川産)

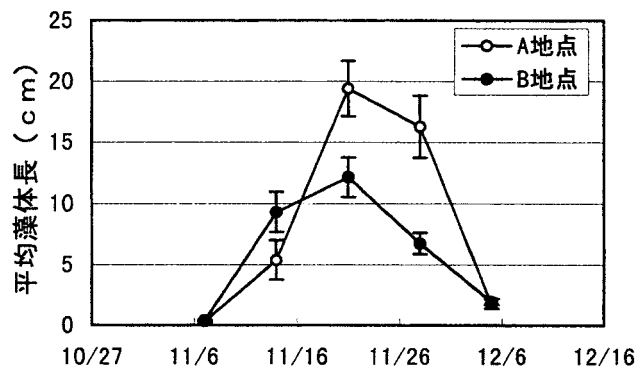


図4 第3回野外養殖結果(吉野川産)

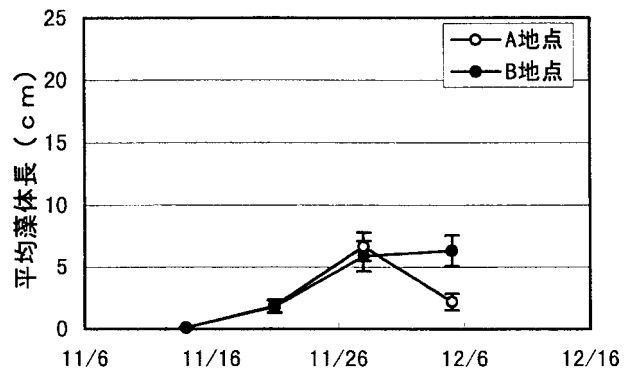


図5 第4回野外養殖結果(四万十川産)